

令和5年度 立川市立若葉台小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎心豊かな子（生命や人権を尊重し、みんなと協力する心豊かな子ども） ○自ら学ぶ子（自分から学び、深く考え、行動する子ども） ○元気な子（未来を切り拓き、世界や社会で活躍する元気でたくましい子ども）
---------	--

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」を目指して、児童が自ら課題を発見し解決することができるようにする。 ・児童にとって魅力ある課題設定により、主体的なコミュニケーションを図るために「伝えたい」思いを育て、自ら考え工夫し、行動に移す力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいとめあてを明確に示し、問題解決における「自力解決」「学び合い」「振り返り」の場を意図的・計画的に設定した授業を行う。 ・児童の主体的なコミュニケーションが実現し、児童が友達や地域の方と積極的に関わることができるよう、児童にとって魅力ある課題を設定する。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。 ・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや気持ちを表す豊かで適切な言葉を使えるようにするため、<u>読書活動の推進</u>を図る。 ・毎日の<u>音読を習慣化</u>し、飛ばし読みをしないで一つ一つの言葉に注目させる。 ・短い物語、新聞や雑誌のコラム等の文章を読み、あらすじを<u>書く経験を増やし、要約することに慣れていける</u>ようにする。 ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域、国土、産業などの特色、日本の政治や歴史、国際協力等について考え、適切に判断し、表現する。 ・資料の調査等を通して、身近な地域、国土、産業などの特色、日本の政治や歴史、国際協力等と人々の生活との関連を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや統計資料、写真等の資料の読み取り方の基本を指導し、資料により多く触れさせることを通して思考力を高める。 ・資料から読み取った社会的事実や事象を<u>比較したり関連付けたり</u>しながら、その意味や目的を考える活動を意図的に取り入れる。 ・授業の最後に、その時間で学習したことを、単元のねらいに照らし合わせながら自分の言葉でまとめる時間を確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる。 ・見通しをもって筋道を立てて考え表現する。 ・問題について、目的に合った方法で表現し、解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉えたりして考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を使って計算の仕方を考えたり、簡単な数に置き換えたりして、計算の仕方を身に付けていく。朝学習などを活用し、繰り返し計算練習の機会を設け習熟を図る。 ・立式するためのキーワードや数を確認し、<u>自分の考えを図や絵に表す</u>ようにする。それを基に立式させ、<u>立式の根拠</u>となる説明をする機会を設ける。 ・自分の考えを図や表を使って分かりやすく説明する力を付けるため、<u>話し合いや解法の検討を重ねながら、多様な考えに触れる経験を通して理解を深められる</u>ようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象の性質・働きや規則性について理解し、適切に観察・実験を行い、過程や結果を記録する。 ・自然事象の様子や性質・働きについて、根拠のある予想や仮説を立てる。 ・自然事象の働きや規則性について、予想や仮説を基に条件を整えて、解決の方法を発想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験のポイントを正しくつかみ、<u>得られた結果を分析し、自分の言葉でまとめ</u>友達と考えを交流する機会をもたせる。 ・予想・仮説では、これまでの学習や生活体験から、一人ひとり表現させる。 ・実験や観察で分かったことを、<u>比較・検討したり、原因と結果を関連付けて考えたりして、文章で表現</u>させる。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
生活	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人々や社会、自然と、自分の生活とを関連させて考え、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の継続的な観察や見学、交流活動、グループ活動等の多様な体験を通して、意欲を喚起する。 観察や体験活動を通し、気付いたことや感じたことを、多様な方法で表現する活動を多く取り入れる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造との関わりを考えて聴いたり、歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けたりする。 自分の考えや思いを、楽しんで音楽表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴が可視化できるように体を動かす活動を取り入れ、曲との関わりを理解したり表現に生かしたりできるようにする。 音楽表現について言葉で共有する場面を多く作る。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 形や色、表し方のよさや美しさを理解して生かし、材料や用具を工夫して使い、創造的に表現する。 自分らしい発想を基に、イメージをふくらませ、表し方や作り方を考え、感じ方を深める。 つくりだす喜びを味わいながら、すすんで表現したり、鑑賞したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の正しい使い方を定着させるため、<u>スモールステップで技能を習得し</u>、複数の題材で繰り返し使うことで、使い方を習得する。 児童の興味・関心に沿った題材提示、メリハリのある活動の流れを設定することで、<u>つくりたいという意欲を持続させ、満足いく作品を完成させる達成感を味わわせる。</u> <u>制作途中・終末で鑑賞活動を取り入れ、友達の活動や作品を認め合う場を設定することで、自分の表現が認められる喜びを味わい、活動する意欲につなげていく。</u>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それに関わる技能を身に付ける。 身に付けた技能を生かして家庭生活でどう生かすのかを考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具等の正しい使い方について、繰り返し指導をする。 ICTを活用し視覚的に工夫した板書・提示をする。 身に付けた技能を家庭でも実践できるように<u>授業の振り返り</u>で児童に考えさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> きまりを守りながら友達と協力し合い、安全に気を付けてすすんで運動遊びをしようとする。 運動や健康についての自分の課題を見付け、解決方法を工夫する。 運動や健康について自己やグループの課題を見付け、解決方法を考えたり、友達に伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ルール等を工夫した理解しやすい教材を通して、<u>より上手くなるための方法やより楽しくするためのきまりについて考えたり、振り返ったりする場面を設定する。</u>すすんで取り組むことができた姿を賞賛し、その良さに気付かせる。 めあてを明確にし、友達からのアドバイスやタブレットで録画した自分の姿を見る活動を通して、<u>自分の課題を見付けられるようにする。</u> ペアやグループでお互いの動きを見合い、<u>よいところや改善点を伝える活動</u>を通して、よりよい動きや作戦を考えさせる。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 言語や文化について理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 身近な事柄について聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の言葉に積極的に耳を傾け、内容を理解しようとする意欲が高まるような場面設定を行う。 「相手に自分の思いを伝えたい」という気持ちを引き出す。そのために、主体的に伝えたいと思える場面設定を意図的にに行い、<u>伝えられたという達成感</u>をもたせる。